



整面液

せいめんえき

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字



概要

整面液は、リトグラフにおいて版面の油脂感を整えるために使用する溶液です。

整面液の処方は、金属板を使った場合と石版石を使った場合とで異なります。

金属版の場合、目立ての研磨時からすでに表面の酸化が始まるので、それを元に戻し感度を整え、版に残る研磨ゴミなどを取り除くために描画前の版に使用します。また、製版後に加筆をする際に、版面の感脂性を製版前の状態に戻す時にも使用します。

整面液は、クロム明礬飽和液 100 に対して 1～3 の割合の硝酸を加えて作ります。使用する際は、刷毛で版面全体に整面液を塗布し、5 分ほど置いて反応させ、水洗いし乾燥させます。この時、版に液が少しでも残っていると、反応しすぎて版が使用できなくなることもあるので、水洗いは十分にします。また、加筆の際は、版面に製版インクが盛ってある状態でレジヌ、タルクを塗布したあと、上記の工程を行います。

石版石の場合は、製版後に加筆の際に使用します。整面液は、水 100 に対して氷酢酸を 10～20 の割合で混ぜて作ります。使用方法は、製版インクが盛ってある状態でレジヌ、タルクを塗布した版面を水を含んだスポンジで拭き、湿った状態にしてから、加筆部分に液を筆や刷毛で塗布します。3～5 分ほど置いて反応させ、水洗いし乾燥させたのち加筆します。

整面液をつくる



手順1. 水とクロム明礬を用意し、はじめにクロム明礬飽和液をつくります。容器に適量（目安としては、水に溶けきれず若干残るぐらいの量）のクロム明礬を入れます。



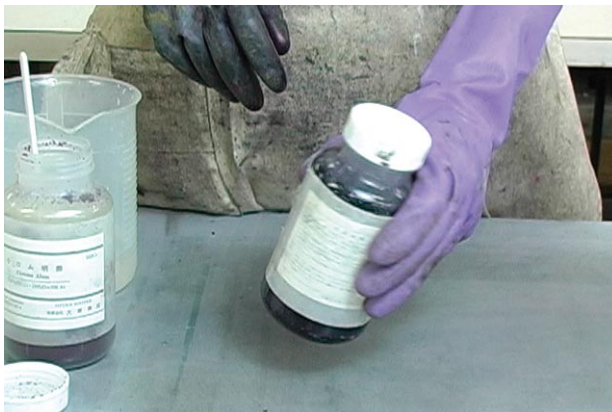
手順4. 出来上がったクロム明礬飽和液を、別の容器に上澄みだけ適量移します。



手順2. クロム明礬を入れた容器に、さらに水を加えます。



手順5. クロム明礬飽和液 100 に対して 1～3 の割合で硝酸を加えて、整面液の完成です。



手順3. 溶液が飽和してクロム明礬が溶けなくなるまで、よく振るなどして混ぜます。

使用例 版の修正（加筆）



手順1. リトグラフの製版後に加筆をしたい場合は、まず描画部分に製版インクが盛ってある状態にし、刷毛により整面液を版全体に塗布し整面します。5分程度作用させたのち、しっかり水洗いをします。



手順2. 水洗いしよく乾燥させたのち、リトクレヨンや解墨による描画が可能になります。描画後はあらためて製版をします。